

霞城



第20普通科連隊広報紙 発行所/山形県防衛協会

第20普通科連隊ホームページアドレス
https://www.mod.go.jp/gsdf/neae/6d/unit_hp/20i_hp/index.html

第20普通科連隊 検索

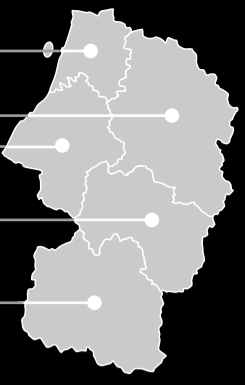
KAJYŌ



ホームページは
こちらから!



隊区担当中隊



- 第2中隊
- 第1中隊
●重迫撃砲中隊
- 第3中隊
- 第4中隊



No.733



「令和5年度 第2次師団訓練検閲」を受閲 山形奪回 メン通り打通作戦



「令和5年度
秋季演習場
統一整備」に参加

Contents

2ページ

- 山形奪回 メン通り打通作戦
「令和5年度第2次師団訓練検閲」を受閲

3ページ

- 「令和5年度秋季演習場統一整備」に参加
- 山形の秋空へ
「令和5年度航空機体験搭乗」を実施

4ページ

- 「県内各地で総合防災訓練」に参加
- 県内各地で装備品展示「PCO 広報展」に支援
- 各種表彰
- 12月行事予定

2023

November

11

山形奪回 メン通り打通作戦 「令和5年度第2次師団訓練検閲」を受閲



10月13日(金)から18日(水)の間、王城寺原演習場(宮城県)において「令和5年度第2次師団訓練検閲」を受閲した。

本訓練検閲は第6師団長(楠見陸将)の統裁のもと、課目「師団の攻撃における戦闘団の行動」で実施され、配属部隊として東北方面特科連隊、第22即応機動連隊、第6後方支援連隊、第6施設大隊及び第6通信大隊が参加した。

連隊は、令和4年度以降、中隊検閲を攻撃課目として練成して基礎的な攻撃に係る練度を積み上げ、令和5年度以降においては、戦闘教練を実施し、小部隊指揮官の企図の徹底及び戦場でやるべき行動(状況対応行動、基礎動作等)を体得するための反復演練により攻撃に係る練度を向上させるとともに、宇宙・サイバー・電磁波等の新領域に係る練度の向上を図ってきた。

また、計画策定以降は、中隊は、拡大地図を活用したロックドрил(図上戦闘)をするとともに、10月5日(木)には駐屯地営庭に連隊及び中隊指揮所を開設し、旧体育館に更に大きな拡大地図を用いた模擬戦場を作製して兵棋演習を実施して指揮官企図の徹底及び作戦戦闘指導を実施して、いかなる任務にも対応できる実力を着実に培ってきた。

訓練検閲受閲に先立ち10日(火)、連隊OB会村山会長が参列する中、駐屯地体育館において出陣式が行われた。村山会長からは「2年に1度の最大の訓練、今までに培ってきた能力を発揮するため、隊員一人ひとりがそれぞれの任務を全うし、連隊が任務完遂できるよう頑張ってください。」と激励のお言葉を頂き、隊員一人ひとりの士気を高めた。

13日、王城寺原演習場にて戦闘団の編成完結式が行われ、戦闘団長訓示にて「指揮の要訣の実践」「徹底」の2点を要望し、「全隊員が一丸となり相互信頼のもと郷土奪回の任務を完遂し、全員無事に家族のもとに帰還しよう。」と述べた。

14日(土)、王城寺原演習場に機動集結した戦闘団は、速やかに斥候による敵情の偵察を行い情報収集を行った。引き続き特科大隊及び重迫撃砲中隊による火力戦闘と連携し第4中隊をもって敵警戒部隊を駆逐し、敵陣地の解明を行った。

15日(日)、特科、機動戦闘車小隊、施設等の諸職種協同の能力を結集して総合戦闘力を発揮し第1中隊、第2中隊をもって敵陣地に対する攻撃を実施し、敵を圧迫した。

16日(月)戦闘団目標に対する最大火力発揮により敵を制圧するとともに第3中隊によるヘリボンと連携した第4中隊による奪取を目標に引き続き戦果を拡張して、任務を完遂した。

18日は連隊の全隊員が統裁官から総評を受けた。連隊は、本訓練検閲における教訓を分析・反映し、部隊の更なる精強化を図るとともに、連隊長要望事項である国民・隊員の「相互信頼」を具現し、いついかなる任務も即応し得る最も強く信頼される連隊というビジョンの達成を目指すべく更に邁進していく。



「令和5年度秋季演習場統一整備」に参加



射場整備
(重迫撃砲中隊)



既設道路整備
(第1中隊)



防火帯整備
(第2中隊)



防火帯整備
(第3中隊)



防火帯整備
(第4中隊)



溜枳整備
(本部管理中隊)



作業についての教育(新配置隊員)



ドローンによる防火帯の空撮

10月22日(日)から31日(火)までの間、白河布引山演習場(福島県)にて第6師団が担任する「令和5年度秋季演習場統一整備」に連隊整備隊長(連隊長 武田1佐)以下約290名が参加し、演習場の機能維持・向上のための整備を行った。

20日(金)には駐屯地において連隊編成完結式を行い、連隊整備隊長は「指揮の要訣の実践」「安全管理」「健康管理」の3点を要望し、「連隊作業隊として作戦と捉えた行動を実施し、安全管理を徹底し、一件の事故もなく任務完遂することを目標に掲げ励んでもらいたい。」と述べた。

23日(月)から連隊の担任区分である「既設道路」及び「弾着地防火帯」の整備(担当 第1、2、3、4中隊)、各施設等の整備(担当 重迫撃砲中隊)、溜枳及び爆破訓練場(担当 本部管理中隊)を実施した。

また、整備野営間も貴重な練成の場と捉え、各中隊は作戦を基準とし建制を保持した編成で臨み各種訓練及び服務指導の場とした。さらに、連隊訓練検閲から引き続き、ドローン空撮や広多無・クローズ系クラウドシステム活用等、デジタル化を目指した練成を継続した。

本整備実施間、天候にも恵まれ、現場の長の確かな指揮のもと、安全管理を徹底しつつ、着実に作業を進め、29日(日)に整備を概成させ、30日(月)には担任官(第6師団長)の点検を受け、大きな事故もなく任務を遂行することができた。



約300人分を調理する連隊炊事班

10月28日(土)神町駐屯地営庭において、協力団体及び協力者を対象とした「令和5年度航空機体験搭乗」を実施した。体験搭乗は第6飛行隊の協力を得て駐屯地広報班と合同で実施し、76名(内連隊枠30名)が参加した。

当初、駐屯地体育館において受付及び問診を済ませ、第6飛行隊による安全教育を受けた後、グループに分かれてヘリに搭乗、駐屯地上空から東根市上空の約10分間の空の旅を満喫した。またフライトまでの待機時間には、駐屯地防衛館及び厚生センターの見学、広報DVDを放映したほか、連隊広報紙「霞城」の紹介ブースを設け、多くの方々が「霞城」をご覧になり、「自衛隊についていろんな活動をしているんですね。かっこいい。」と関心を寄せられていた。

当日は早朝から、秋の季節特有の霧で視界が遮られ飛行困難と思われたが、時間が経つにつれ靄が広がり絶好のフライト日和となった。参加者は「空からの景色はすごかった。」「楽しくてあっという間に終わってしまった。」と興奮した様子で空の旅を楽しんでいた。



搭乗者への問診(衛生小隊隊員)

「令和5年度航空機体験搭乗」を実施

山形の秋空へ




搭乗の様子

「県内各地で総合防災訓練」に参加



村山市総合防災訓練(第1中隊)



河北町総合防災訓練(第3中隊)



酒田市総合防災訓練(第2中隊)



白鷹町総合防災訓練(第4中隊)

10月22日(日)、29日(日)、県内各地において防災訓練が実施され、第1中隊、第2中隊、第3中隊、第4中隊がそれぞれ参加した。(別表)

訓練では、自衛隊、自衛隊、消防、警察における情報共有及び災害対処の連携要領を演練した。

また、参加した隊員は、装備品展示において地域住民の方々からの質問に澆刺と受け答えを行い、災害時に運用する装備品等の理解促進を図ることができた。

本訓練において、自治体及び地域住民等の自衛隊に対する理解の促進と信頼の獲得を図ることができた。

実施日	訓練名	実施場所	参加中隊	訓練内容等
10月22日(日)	河北町総合防災訓練	河北町立清延小学校	第3中隊	情報収集訓練 装備品展示
10月22日(日)	白鷹町総合防災訓練	白鷹町立東根小学校	第4中隊	災害救助訓練 装備品展示
10月29日(日)	酒田市総合防災訓練	酒田市役所	第2中隊	合同調整所運営訓練 現地調整所運営訓練
10月29日(日)	村山市総合防災訓練	村山市立戸沢小学校	第1中隊	救出・救助訓練 装備品展示

12月行事予定

- 1日(金)～5日(火)**
・予備自衛官招集訓練
- 6日(水)～8日(金)**
・山形県警察本部との共同訓練
- 11日(月)～15日(金)**
・連隊ICE CPX
- 21日(木)**・サービス点検
・連隊年末行事

各種表彰

【#2師団訓練検閲優秀隊員】

- 連隊本部
 - ・菊地(政)曹長(特別勤務班長としての功績)
 - ・橋浦3曹(第2科地図陸曹としての功績)
 - ・菊地(良)曹長(第3科先任陸曹としての功績)
 - ・田村2曹(第4科庶務陸曹としての功績)
- 本部管理中隊
 - ・姉崎曹長(運用訓練准尉としての功績)
 - ・伊藤3曹(前進観測陸曹としての功績)
 - ・今田3曹(斥候組長としての功績)
 - ・三浦3曹(信務陸曹としての功績)
 - ・五十嵐3曹(化学攻撃対処の功績)
 - ・寒河江1曹(補給陸曹としての功績)
 - ・天間3曹(衛生救護員としての功績)
 - ・川口3曹(観測手としての功績)
- 第1中隊
 - ・矢口1士(LAM手としての功績)
 - ・舟澤士長(通信手としての功績)
 - ・高橋士長(O1ATM手としての功績)
 - ・志田1士(弾薬手としての功績)
 - ・高橋2曹(狙撃手としての功績)
- 第2中隊
 - ・本間3曹(副分隊長としての功績)
 - ・岩野士長(LAM手としての功績)
 - ・土田士長(小銃手としての功績)
 - ・佐藤3曹(射撃陸曹としての功績)
 - ・四釜3曹(観測手としての功績)
- 第3中隊
 - ・鈴木1士(機関銃手としての功績)
 - ・佐藤士長(小銃手としての功績)
 - ・佐藤3曹(小銃手としての功績)
 - ・佐藤1曹(前進観測陸曹としての功績)
 - ・星3曹(狙撃手としての功績)
- 第4中隊
 - ・佐藤3曹(通信陸曹としての功績)
 - ・齋藤3曹(O1ATM手としての功績)
 - ・丸子士長(通信手としての功績)
 - ・柿崎3曹(小銃手としての功績)
 - ・山田士長(弾薬手としての功績)
- 重迫撃砲中隊
 - ・菅原3曹(通信班中継組長としての功績)
 - ・小田3曹(射撃指揮班算定陸曹としての功績)
 - ・西村3曹(分隊長としての功績)
 - ・武田3曹(砲手としての功績)

【10月警衛勤務優秀らっぱ手】

- ・本部管理中隊 岩下1曹(26日上番)

実施日	イベント名	協力人員	車両展示内容
10月21日(土)	山形流通団地まつり(山形市)	3名	軽装甲機動車、オートバイ
10月28日(土)	やまがた秋の芸術祭(山形市)	2名	軽装甲機動車
10月29日(日)	イオン米沢開店祭(米沢市)	2名	軽装甲機動車

10月21日(土)～29日(日)の間、県内各地で自衛隊山形地方協力本部が実施する広報展にそれぞれ支援(別表参照)し、装備品展示を実施した。

イベント当日は、多くの来場者が訪れ会場は賑わいを見せて。協力した隊員たちとの記念撮影とともに、寄せられた質問に対し澆刺と受け答えを行うなど、自衛隊の魅力の発信を行った。



イオン米沢開店祭



山形秋の芸術祭

県内各地で装備品展示 「PCCOM報展」に支援